Technova
Technology Innovation

白石食品が生産性向上に本格着手

・ユーザー名　白石食品工業株式会社

・業　　種　　パン製造販売業中核とする食品メーカー
・システム　　Windows Personal Computer
・ソリューションパートナー　　テクノバ株式会社

会社概要

年　商：74 億 5 千万円
従業員数：731 人
事業内容：パン、和・洋菓子、商事商品販売
　　インストアベーカリー「ブランドール」
　　関連会社「生活工房」(弁当,惣菜等製造販売)
本社工場：　盛岡
営業拠点：盛岡、八戸、仙台、秋田、大館

生産部１課天沼課長、佐藤係長
経理部兼電算課藤原次長、工藤取締役生産部長

東北の有力大手メーカーである白石食品工業様は、多くの販売先、様々な受注形態、多便納期があり、それを１工場で応えるために 24 時間稼動の複雑な仕組みの生産を余儀なくされています。美味しくて多彩な食品の供給を可能にしてきたのは、高い技術と最新の生産設備、迅速な受注・配送体制、そして工場の長い経験と実力ですが。同社の生産性向上戦略の切り札としてテクノバ㈱の生産管理ソフト「アドリブ」が本社菓子パン部門に導入されました。マーケットからの要求は益々厳しくなり、おいしさは当然のこと、いかに効率的に生産するか求められています。経験と勘の生産管理から、科学的管理の新しい仕組みづくりに取り組まれ、本格稼動を目指して着実に成果を上げておられています。

約 200 種の菓子パン類と大手スーパー･コンビニほか特約店 4000 店の販路

同社は 1948 年白石パンとして創業、1953 年白石食品工業株式会社として法人化されました。その後工場の充実、販路の拡大を続けられ、東北の製パン企業の雄として発展してこられました。現在、盛岡市にある本社工場のみで東北全域をカバーされ、平成 16 年度の年商は 74 億５千万円。取引先店は約 4000 店で、菓子パンのアイテムだけで約 200 種類にのぼり、充実した製品ラインで顧客に支持されています。

コンビニ商品の複雑な生産条件に対応するためアドリブの導入

今回のソフト導入の背景を、取締役生産部長の工藤善夫氏は次のように話す。「近年は人口が減少する一方でエリアが広がり、営業効率が悪くなってきています。また、大型量販店が次々に出店、その競合のあおりでパンの販売価格も下がってきています。このような経営環境の中で当社が利益を出していくためには、生産効率を上げていく以外にはありません」　しかし、同社は前述の通り一つの工場で多品種少量を製造しており、特に菓子パンラインは不連続なラインを適宜組み換えながら製造を行っている状況だった。

このような複雑なラインで生産効率を追求することは不可能に近いと考えていたが、今年の 2 月、白石隆専務がモバックショウで、テクノバの弘中社長の話を聞き、直ちに検討

するよう指示を出した。もともと白石社長・専務ともにコンピュータに明るく、その可能性を掴んだのだという。

そして 4 月に弘中氏からのプレゼンが行われ、5 月に冷凍生地ラインで同ソフトを導入しているオイシスの高石工場を見学、6 月にはソフト導入を決定した。7～9 月にかけて現状のデータをとり、白石食品工業側からの様々な要望とすりあわせを行い、10 月 5 日にまず自動化ラインからテスト運転を開始した。「これまでは多品種少量生産ができるように色々工夫してラインを組み合わせてきていましたが、成形する順番のみが決まっている状態で、全体が把握できていなかったように思います。ソフトを使いこなすためには、まずラインを整理することから始めています。スタッフの気持ちも前向きになってきています。こういうことがないと、なかなか取りかかれなかったと思います」（工藤部長）

工場の見える化で複雑アミダくじラインの生産性向上

現在、工程の組み立てを行っているのは生産部製造一課係長の佐藤忍氏。「この工場では商品の改廃で週に 7～8 アイテム、一カ月では 40～50 アイテムが変更になります。これによって、人員の配置を適宜変更しなければなりません。量販店への納入時間と社員の出勤時間を考えて工程を決めていましたが、自分のいる成形の工程は見えますが、後の工程が見えていなかったので、これまでは無駄が多かったと思います。このソフトだと全体が一目で把握できるので、時間毎に変わる必要人数を把握し、前もって組み立てができるので、かなり効率がアップするだろうと考えています」

工程を統括している生産部製造一課課長の天沼巧氏は、スタッフのモラールアップに期待を寄せる。「ソフト導入で部署毎の人員配置や出勤時間の見直しが行えます。そして、余った時間を有効に活用することができるようになりますが、その為には従業員のレベルも同時に上げていくことが必要です。これから順次シミュレーションを行い、ソフトを現場に適応できるようにバーションアップして一つ一つ課題をクリアしていきますが、同時に、作業員のレベルアップを図っていき、来年４月を目途に本格稼働できればと思っています」

「アドリブ」導入後6ヶ月で菓子パン部門本格稼動目指す

経理部経理課兼電算課次長の藤原一也氏は原材料のコスト削減にも期待しているという。「当社では約２千種類の原材料を使っていますが、これまではその使用予定状況が原材料のアイテム別にわかる仕組みができていませんでした。アドリブは原材料の使用予定状況が一目でわかる機能も備えていますから、今後は材料の使い込み・使いすぎ等もその都度チェックできます。

大手のソフトメーカーからも色々ご提案をいただきましたが、パン製造の現場がわからないと、適切に機能するソフトが組めません。弘中社長は、パン作りの工程を熟知しておられるので、色々な要望を確実に処理していただけます」

「厳しい経営環境を打破するためには意識改革が必要ですが、今回の導入は丁度いいタイミングではなかったかと思います。４月から忙しい時期に入りますから、２月３月で何とかシミュレーションを終えて、その時期に備えたいと考えています」（工藤部長）

当社の工場は１工場で全ての製品を多様な販売チャネルの多便納期に対応するため、工場の生産の複雑さは日本でも１，２を争うのではないかと思います。今まで工場の実態が掴みにくかったのですが、アドリブの導入で複雑な菓子パン部門が工場の見える化で一目瞭然になり、生産計画の不備や問題点が見えてくるので、後は対策を考えて実現すれば良い訳です。その対策が適切であった否かも、直ちに分かるので、次々に問題を解決し、今後は確実に生産性を向上していくことが可能になると思います。

テクノバホームページアドレス　http://www.technova.ne.jp/　e-mail: mailbox@technova.ne.jp

お問合せ先　テクノバ株式会社
〒631-0845 奈良市宝来三丁目 15-1
Tel: 090-8233-3225　Fax: 0742(49)2450